

## 動詞“过”の「到達義」について —方言データを中心に—

大東文化大学大学院 蘇秋韵

要旨:動詞“过”の語義を説明する際、“过桥”、“过河”、“过年”、“过节”(橋を渡る、川を渡る、年が明ける、祝日を過ごす)など空間、時間を賓語とする連語、あるいは単語が典型的な例として挙げられる。このような動賓構造の例をもとに、動詞“过”の語義を「通過」とする研究が多数を占める。例えば、吕叔湘(1999: 245)では、動詞“过”の意味を「(場所)を通り過ぎる」「(時間が)過ぎる、(時間を)過ごす」「(ある範囲や限度を)超過する」「(ある処理を)経る、施す」の四つに分けている。丸尾誠(2014:105)は、動詞“过”の基本義を「通過」とする。高橋弥守彦(2005)は位置移動の動詞“过”の基本義を「過ぎる」としている。また、《现代汉语词典(第7版)》(2016:501)では、動詞“过”の意味を五つに分類し、その中に、

(1) 从甲方转移到乙方。(甲から乙へ移す:筆者訳)

例: 过户/过账 [名義を変更する/伝票を転記する]

の解釈項目が見られる。“过户”、“过账”の例から見ると「通過義」とするより「到達義」としての解釈がより合理的ではなかろうか。本発表では「到達義」を表す“过”の用法について検討を行い、主に方言データを基に、“过”の「到達義」を明らかにする。